

ねんど こうき
2022年度 後期

にほんご
日 本 語 プ ロ グ ラ ム

り しゅう あん ない
履 修 案 内

とつ とり だい がく
鳥 取 大 学

こく さい こう りゅう
国 際 交 流 セ ン タ ー

とっとりだいがくこくさいこうりゅう
鳥取大学国際交 流センター にほんご
日本語プログラム りしゅうあんない
履修案内

もくじ
目次

2022 ^{ねん ど こう き} 年度後期 カレンダー	 2
こくさいこうりゅう 国際交 流センター にほんご 日本語プログラム がいよう 概要	 3
コース ^{べつりしゅうあんない} 別履修案内	 5
[I] にほんごしゅうちゅうけんしゅう 日本語集中研修コース	 5
[Z] ぜんがくきょうつうかもく にほんご にほんじじょう 全学共通科目「日本語・日本事情」	 7
[P] もくてきべつにほんご 目的別日本語コース	 9
[N] そうごうにほんご 総合日本語コース （“ここにこ” コース）	11
きょうつうきょういくとうはいちず 共通教育棟配置図	15

2022年度 後期 カレンダー

10月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

12月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

3月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月1日(火)

11月12日(土)・12月1日(木)

12月27日(火)～1月4日(水)

1月13日(金)

1月28日(土)・2月10日(金)

2月3日(金)

2月9日(木)

2月11日(土)～3月31日(金)

木曜日の授業

第3クォーター予備日

冬季休業日(冬休み)

休講(共通テスト準備)

第4クォーター予備日

休講(推薦入試)

金曜日の授業

春季休業日(春休み)

国際交流センター 日本語プログラム概要

1. コース・科目の種類

鳥取大学国際交流センターでは、留学生のためのさまざまな日本語コースや開講科目を用意しています。それぞれの内容は、6 ページからの「コース別履修案内」を見てください。

[I] 日本語集中研修コース	⇒ 5 ページ
[Z] 全学共通科目「日本語・日本事情」	⇒ 7 ページ
[P] 目的別日本語コース	⇒ 9 ページ
[N] 総合日本語コース（“にこにこ”コース）	⇒ 11 ページ

2. 受講できるコース・科目

まず、自分の身分を確認してください。上に挙げたコース・科目の中で、以下のものを受講することができます。

身分	必修	単位認定	出席可能
① 大使館推薦の国費研究留学生	[I]		
② 教員研修留学生	[I]		
③ 学部生		[Z]	[P]
④ 大学院生			[P], [N]
⑤ 特別聴講学生（短期交換留学生）		[Z]	[P], [N]
⑥ 日本語・日本文化研修生		[Z]	[P], [N]
⑦ 研究生			[P], [N]
⑧ (⑤, ⑥以外の) 科目等履修生, 聴講生			[P], [N]

※ただし、日本語のレベルや他の条件によって、他のコースや科目を受けられることがあります。

※[Z]全学共通科目「日本語・日本事情」及び、[P]目的別日本語コースは、日本語で研究やレポート・論文作成を行う留学生を対象とします。

3. 授業

(1) 学期

1年を2学期に分けます。前期は、4月1日から9月30日までで、後期は、10月1日から翌年3月31日までです。

(2) 授業時間

授業時間は、次のとおりです。

時限	授業時間
1時限	午前 8 : 45 — 10 : 15
2時限	午前 10 : 30 — 12 : 00
3時限	午後 1 : 00 — 2 : 30
4時限	午後 2 : 45 — 4 : 15
5時限	午後 4 : 30 — 6 : 00

(3) 休講

- ・鳥取市北部（医学部学生については米子市）に午前7時時点で気象警報が発令されており、かつ公共交通機関が運休している場合は、午前中（1時限と2時限）の授業を休講にして、予備日に補講を実施します。
- ・鳥取市北部（医学部学生については米子市）に午前11時時点で気象警報が発令されており、かつ公共交通機関が運休している場合は、午後（3時限と4時限、5時限）の授業を休講にして、予備日に補講を実施します。
- ・それ以外の休講は、その都度お知らせします。

(4) 掲示

授業に関するその他の連絡は、国際交流センター室（共通教育棟1階）の掲示板と、国際交流センターのWebページ(<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>)でお知らせしますので、毎日見るようにしてください。

コース別履修案内

Ⅰ 日本語集中研修コース

(1) 対象・目的

大使館推薦の国費留学生（研究留学生，教員研修留学生）等を対象に，大学院等への進学や教員研修の前の半年間，生活や修学のために必要な日本語教育を集中的に行い，基本的な自己表現やコミュニケーションが行えるようにします。

(2) 教員

基礎日本語：御館久里恵，大島いずみ
漢字と文章：池田玲子，御館久里恵
日本語総合演習：池田玲子
日本事情：チャン チェオンジェン，蕪木絵実

(3) 時間割

	月	火	水	木	金
1 8:45-10:15	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	漢字と文章 B3 コラボ
2 10:30-12:00	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	日本語総合演習 B3 コラボ
3 13:00-14:30		漢字と文章 B3 コラボ			
4 14:45-16:15					日本事情 B3 コラボ
5					

(4) 授業内容・教材

＜基礎日本語＞

オリジナルテキスト『にほんご にこにこ』や教師の作成する教材を使って，身近なトピックをもとに，必要な表現を身につけながら，日本語での基本的なコミュニケーションができるようにします。

＜漢字と文章＞

テキスト『みんなの日本語初級Ⅰ 漢字(英語版)』（スリーエーネットワーク発行）に沿って漢字の基礎を学んだり，生活や専門の学習で目にする漢字を取りあげたりすることによ

り,理解できる漢字の数を増やし,少しずつ長めの文章の読み書きができるようにします。

<日本語総合演習>

既習事項を整理して運用したり,各学習者の課題を解決したりします。

<日本事情>

留学生が日本で生活をする上で必要な日本のさまざまな事情を取りあげ,知識を深め,考察を交わします。コンピュータの基本的操作や日本語入力も学びます。

(5)試験・評価

ミニクイズや中間テストの成績と,修了発表,出席率,授業内での活動などから,総合的に評価をします。

(6)主な予定

10月上旬

開講式・コースガイダンス

10月11日(火)

授業開始

11月1日(火)

木曜日の授業

11月12日(土)・12月1日(木)

第3クォーター予備日

12月27日(火)~1月4日(水)

冬季休業日(冬休み)

1月13日(金)

休講(共通テスト準備)

1月28日(土)

第4クォーター予備日

2月3日(金)

休講(推薦入試)

2月9日(木)

金曜日の授業

2月10日(金)

修了発表

3月中~下旬

閉講式

※その他の行事等については,随時お知らせします。

[Z] 全学共通科目「日本語・日本事情」

(1) 対象・目的

学部正規生、日本語・日本文化研修生等を対象として開設される科目です。これらはすべて、学部の単位として取得可能です。日本語科目では、各学部での学習が円滑に行えるよう、アカデミックなスキルの向上を図ります。日本事情科目では、幅広い観点からの講義や、自分たちで設定したテーマについて調査を行うことによって、日本の事情を深く理解することができます。

(2) 教員

日本語の表現技法Ⅱ、学部留学生のための日本語Ⅱ : 池田玲子
日本語実践Ⅱ : 御舘久里恵
日本文化事情Ⅱ : チャン チェオンジェン
日本社会事情Ⅱ : 蕪木絵実 他

(3) 時間割・教室

	月	火	水	木	金
1					
2					
3 13:00-14:30	日本社会事情Ⅱ C41			学部留学生のための 日本語Ⅱ B32	
4 14:45-16:15	日本語実践Ⅱ C41		日本語の表現技法Ⅱ C41		
5 16:30-18:00			日本文化事情Ⅱ C41		

(4) 授業内容・教材

『全学共通科目 履修案内』や、鳥取大学学務支援システムの Web 版シラバスを参照してください。

<https://www.tottori-u.ac.jp/3890.htm>

(5)登録

学部留学生は、自分の所属学部の卒業要件を満たすように履修計画を立て、各学部で履修手続きを行ってください。

単位数は、「日本語」科目が1科目1単位、「日本事情」科目が1科目2単位です。

学部留学生は、「日本事情」科目で履修した単位のうち、8単位までを教養科目に、「日本語」科目で履修した単位のうち、6単位までを外国語科目に振り替えることができますが、合わせて12単位を超えることはできません。(『全学共通科目履修案内』を参照してください。)

日本語・日本文化研修生や特別聴講学生も、所属学部で手続きをしてください。

なお、「学部留学生のための日本語Ⅱ」は、正規学部留学生のみを対象に開講します。

(6)試験・評価

シラバスを参照してください。

(7)主な予定

日程は、全学共通科目の学年暦にそっています。

10月3日(月)	授業開始
11月1日(火)	木曜日の授業
11月12日(土)・12月1日(木)	第3クォーター予備日
12月27日(火)～1月4日(水)	冬季休業日(冬休み)
1月13日(金)	休講(共通テスト準備)
1月28日(土)・2月10日(金)	第4クォーター予備日
2月2日(木)～9日(木)	定期試験
2月3日(金)	休講(推薦入試)
2月9日(木)	金曜日の授業

[P] 目的別日本語コース

(1) 対象・目的・授業内容

「N1日本語」では、日本語能力試験N1受験希望者を対象に、文法・語彙・文字・読解・聴解の力を総合的に伸ばします。

「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」では、異文化接触の事例を題材としたケース型教材を用いて、異文化理解と日本語コミュニケーション力の向上を目指します。

「レポート演習」では、日本語でレポート作成を行う必要のある留学生を対象に、日本語によるレポートや論文の作成方法を学びます。

(2) 教員

N1日本語、ケースで学ぶ異文化コミュニケーション：大島いずみ
レポート演習：池田玲子

(3) 時間割・教室

	げつ	か	すい	もく	きん
1 8:45-10:15			N1日本語（文法） A34	N1日本語（聴解・速読） B32	
2 10:30-12:00			ケースで学ぶ異文化 コミュニケーション A34		
3					
4					
5 16:30-18:00		レポート演習 A34			

(4) 教材

教員が教材を作成し、配布します。

(5) 登録

指導教員の了解を得た上で、オンラインフォームに入力してください。

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/jp-prog>

※認証コード：nihongo

(6)試験・評価

「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」、「レポート演習」は、発表とレポートにより評価します。成績と出席率が共に60%以上の人には、修了証を発行します。

「N1日本語」は、評価や修了証の発行を行いません。

(7)主な予定

10月11日(火)

授業開始

11月1日(火)

木曜日の授業

11月12日(土)・12月1日(木)

第3クォーター予備日

12月27日(火)～1月4日(水)

冬季休業日(冬休み)

1月13日(金)

休講(共通テスト準備)

1月28日(土)・2月10日(金)

第4クォーター予備日

2月3日(金)

休講(推薦入試)

2月8日(水)

授業終了

[N] 総合日本語コース (“にこにこ” コース)

(1) 対象・目的

大学院生や研究生等を対象に、生活や自己表現に必要な日本語や、研究活動に必要な基本的な日本語を、それぞれのレベルに合わせてレベルアップできるようにします。

鳥取地区	米子地区	
日本語A	初級1	初めて日本語を学ぶ人
日本語B	初級2	日本語で簡単なやりとりができる人 (日本語を 50-100時間程度学んだ人)
日本語C		日常生活での基本的なコミュニケーションが 日本語でおこなえる人(日本語を 200～300時間程度 学んだ人)
日本語D	中級	日本語での意志の疎通がおおよそできる人 (日本語を 300時間以上学んだ人)
漢字ワークショップ		漢字を勉強したいすべての人

(2) 教員

鳥取地区

日本語A：伊藤邦子，大島いずみ
 日本語B：伊藤邦子，村田佳寿子
 日本語C：村田佳寿子，川口斐斐
 日本語D：村田佳寿子，伊藤邦子
 漢字ワークショップ：御館久里恵

米子地区

初級1・初級2・中級：土江加奈子

(3)時間割・教室

鳥取地区

	月	火	水	木	金
1 8:45-10:15	日本語B B32	日本語B B32	日本語B B32		
	日本語D B2 コラボ	日本語D B2 コラボ	日本語D B2 コラボ		
2 10:30-12:00					
3					
4 14:45-16:15		漢字ワーク ショップ 語学シャワー室			
5 16:30-18:00	日本語A B21	日本語A B21	日本語A B21	日本語A B21	
		日本語C B2 コラボ	日本語C B2 コラボ	日本語C B2 コラボ	

米子地区

	水
1	
2 10:30-12:00	中級 チュートリアル室
3 13:00-14:30	初級1 チュートリアル室
4 14:45-16:15	初級2 チュートリアル室
5	

(4)授業内容・教材

鳥取地区

<日本語A>

オリジナルテキスト『にほんごにこにこ』のトピックをもとに、必要な表現を身につけながら、日本語での基本的なコミュニケーション能力を養います。

<日本語B>

テキスト『できる日本語 初級』(アルク発行)の後半をもとに、基本的な文型や表現を学び、より豊かなコミュニケーションができるようにします。また、『たのしい読みもの 55』(アルク発行)の前半を使い、短めの文章の読み書きにもとりくみます。

<日本語C>

テキスト『できる日本語 初中級』(アルク発行)にそって、これまでに身につけた表現と結びつけながら新たな表現を学び、よりの確に状況や心情を理解したり伝えたりできるようにします。また、『たのしい読みもの 55』(アルク発行)の後半を使い、まとまった長さの文章を読んだり書いたりできるようにします。

<日本語D>

テキスト『できる日本語 中級』(アルク発行)を使用し、各課のテーマに基づいて、日本語で行動目標を達成するための思考力と伝達能力の向上をはかります。

また、作文の時間を週に1回設け、決められたトピックについて自分の意見を的確にまとめたり、目的や状況に合った文章を書いたりできるように練習します。

<漢字ワークショップ>

自分に合ったテキストを選び、パートナーの日本人学生といっしょに自分のペースで漢字を学習します。(自分の漢字テキストを持っている人は、持ってきてください。)

米子地区

<初級1>

テキスト『にほんご 45 じかん』(専門教育出版発行)を参考にし、必要な表現を身につけながら、日本語での基本的なコミュニケーション能力を養います。

<初級2>

テキスト『にほんご つぎの 45 じかん』(専門教育出版発行)を参考にし、必要な表現を身につけながら、日本語での基本的なコミュニケーション能力を養います。

<中級>

テキスト『つなが日本語初級2』(アスク発行)を参考にしながら、研究室で必要となる会話を中心に、日本語を通して円滑な人間関係が形成できるよう、学習します。

(5)登録

指導教員^{しどうきょういん}の了解^{りようかい}を得た上で、オンラインフォームに入^に力^{りき}してください。

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/jp-prog>

※認^{にん}証^{しょう}コード：nihongo

(6)試験・評価

各クラスとも、試験^{しけん}と出席率^{しゅつせきりつ}で評価^{ひょうか}をします。試験^{しけん}の成績^{せいせき}と出席率^{しゅつせきりつ}が共に 60%以上^{いじょう}の人に、修了証^{しゅうりょうしょう}を発行^{はつこう}します。

(7)主な予定

10月6日(木)

コース説明会^{せつめいかい}

10月11日(火)

授業開始^{じゅぎょうかいし}

11月1日(火)

木曜日の授業^{もくようび じゅぎょう}

11月12日(土)・12月1日(木)

第3クォーター予備日^{だい 3 ことarter 予び}

12月27日(火)~1月4日(水)

冬季休業日(冬休み)^{とうきぎゅうぎょうび ふゆやす}

1月26日(木)~2月1日(水)

定期試験^{ていきしけん}

1月28日(土)

第4クォーター予備日^{だい 4 ことarter 予び}

3月1日, 8日, 15日(水)

春期授業(米子キャンパス)^{しゅんきぎゅうぎょう よなご}

(8)その他

・「日本語B」「日本語C」「日本語D」「漢字ワークショップ」は、テキストを貸し出します。国際交流センターの教材^{こくさいこうりゅう きょうざい}ですから、直接書き込まないようにしてください。購入を希望^{こうにゆう きぼう}する人は申し出て^{ひと もう で}ください。

・クラス移動は、コースが始^{はじ}まってから 4週間以内^{しゅうかんにない}で、担当講師^{たんとうこうし}が適^{てき}当^{とう}と認^{みと}めた場合^{ばあい}のみ可^{かの}能^{のう}とします。

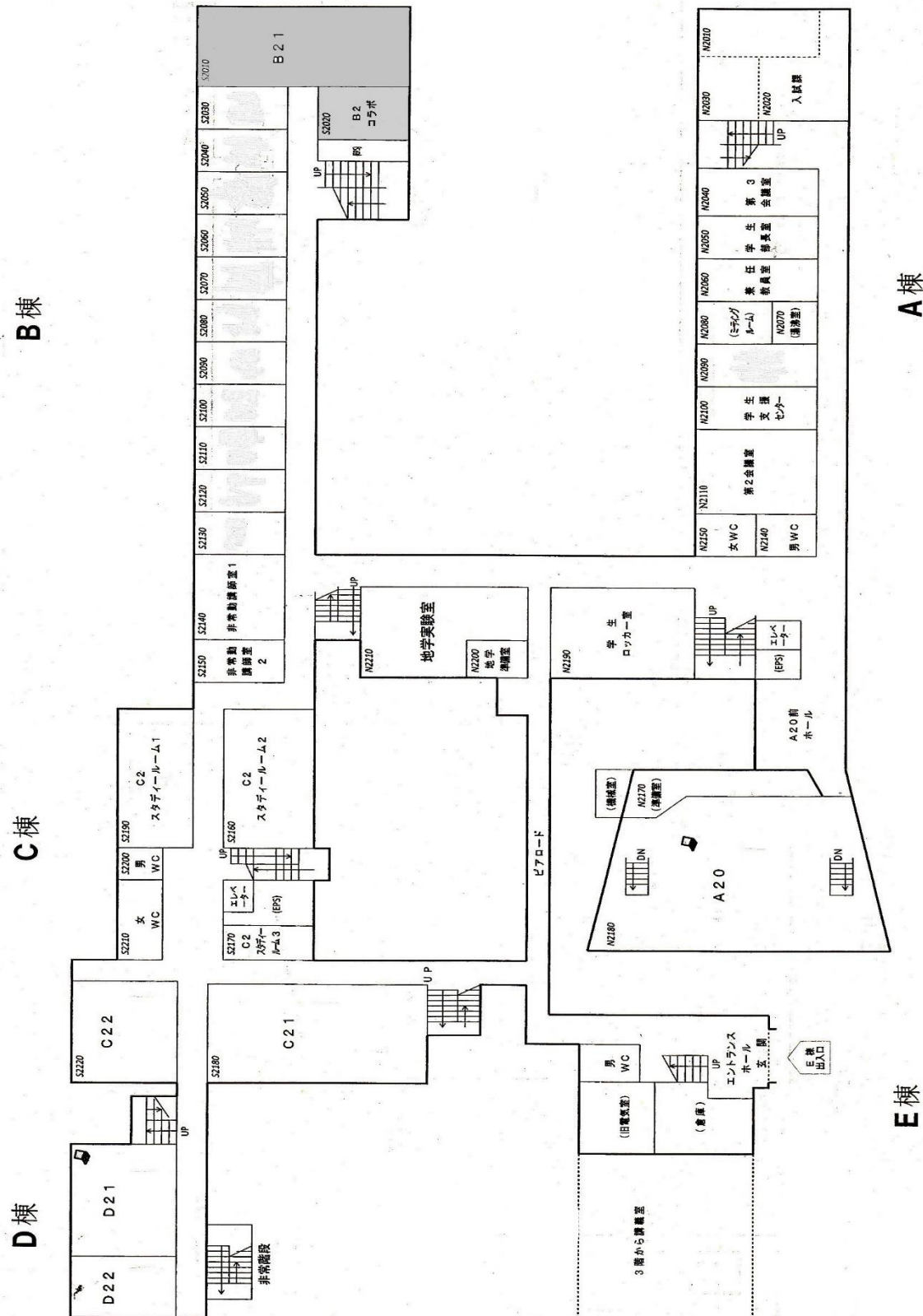
・来日^{らいにち}が遅^{おく}れた場合^{ばあい}、日本語既修者^{にほんごきしゅうしゃ}であれば受け付けますが、初心者^{しよしんしゃ}の場合^{ばあい}は次学期^{じがつき}からの参^{さん}加^かとなります。



きょうつうきょういくとう
共通教育棟

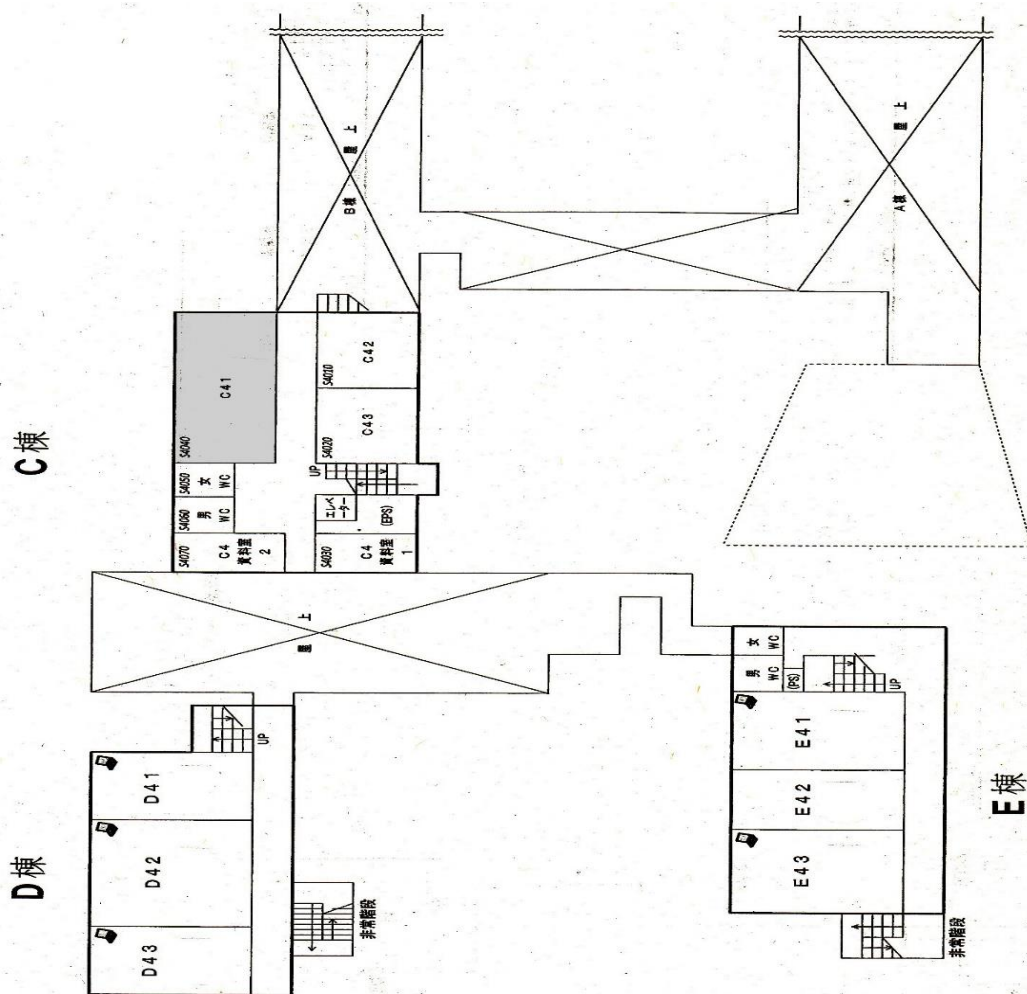
はいちず
配置図

かい
【2階】





きょうつうきょういくとう かい
 共通教育棟 配置図 【4階】



にほんご じゅこうとどけ
日本語プログラム受講届

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/jp-prog>



※ にんしょう 認証コード ⇒ nihongo